

平成28年度 第1回 池田市子ども・子育て会議 議事録（要約）

日 時：平成28年4月15日（金） 午後2時30分より

場 所：池田市保健福祉総合センター 3階健康教育室

出席者：倉田市長、木田副市長、委員10名、
傍聴席2名 事務局他13名

内 容

1. 開 会

2. 市長挨拶

- ・「子ども・子育て日本一、教育のまち日本一」として名実ともになるための方向を確認しあいながら進めていきたい。
- ・未就学の児童だけではなく若者を取り入れるために機構改革を行い、「子ども・若者政策課」を作らせていただいて、「子ども食堂」の問題は子ども・若者政策課で行うという宣言にした。
- ・6月の定例議会に「教育のまち池田条例」を提案する予定にしている。
- ・五月丘保育所は、同じ五月丘地区内で移転して民間にお願いをする。
- ・池田市としては経験のない4月1日の年度初めに95人もの待機児童が発生したため、緊急対応宣言を発して解消に向けて取り組んでいる。

3. 意見交換

「教育のまち池田条例（仮称）」の制定に伴うパブリックコメントの実施について

Q) 検証の方法についてどのように考えているのか？

A) 検証の方法については

時間の経過とともに行政課題も日々変わっていく。4年を超えない範囲で検証を実施する予定。

「池田市保育所等設置認可等審議会条例」の制定について

Q) 審議会のメンバーは子ども・子育て会議とは独立したものになるのか？

A) お見込みのとおりである。

保育所待機児童問題緊急対応宣言について

Q) 認可保育所でも保育士不足により定員を満たせていないと聞いているが、その数は？

A) 42名分である。

Q) 池田市広報に保育士募集が載っていたが、ボランティアの方を採用してはどうか？

また、社会情勢も変化しているために幼稚園では定員を割り込んでいるが、保育所との関係で認定こども園を増やすことはできないのか？

A) 現在募集しているのは、保育士の資格を有している方である。あくまで保育のお手伝いという面ではボランティアの力をお借りすることは検討できるところ。

私立の認定こども園については4園が開設する予定であるが、公立の子ども園は幼稚園との関係もあり、教育委員会との協議の上、幼保一元化を進めていきたいと考えている。

五月丘保育所民営化について

Q) 新しい保育所の定員数が 110 名～120 名となっているが増やすことはできないのか？

保育士の業務負担軽減策についての解消法はどうか？

来年度当初の待機児童の見込みについてはどうか？

A) 110 名以上の定員でのプロポーザルで業者募集をしていきたい。

保育士の事務負担軽減について、保育の電子システム等の導入を池田市が財政的に援助することで、事務負担の軽減を図る。

認定こども園への移行や認可外保育所から認可保育所への移行などにより、来年度は 199 名の定員増を見込んでおり、待機児童は発生しない予定。

Q) 子どもの声についてはどうなのか？

送迎時の駐車対策についてはどうなのか？

A) 子どもの声については地元への説明の中でご理解を求めている。

送迎の車については、敷地内に駐車スペースを確保して対応したいと考えている。

Q) 現在の五月丘保育所の跡地利用についてはどうなのか？

A) 借地なので、地主に返還をする。

4. 閉 会